
四日市市
介護支援専門員調査
報告書

令和5年3月

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 有効回答件数及び回答率	1
(4) 留意点	1
2. 調査結果	2
問1 所属などについて	2
問2 ケアマネジメントについて	6
問3 介護サービスについて	10
問4 日常生活の支援について	11
問5 地域や多職種間での連携について	12
問6 認知症対策について	15
問7 医療との連携、在宅での療養・介護について	18
問8 今後の介護について	23

1. 調査概要

(1) 調査目的

本市では、高齢者福祉の一層の充実と介護保険制度の円滑な実施に向け、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の見直しを行うにあたり、介護保険事業者の現状等について把握し、今後の四日市市の介護保険事業及び高齢者福祉施策のための基礎的な資料を作成するために実施しました。

(2) 調査の実施について

対象	市内の居宅介護支援事業所(居介・包括)。小多機、看多機事業所(ケアマネごと)
実施期間	令和4年12月14日(水)～令和4年12月31日(土)
実施方法	WEB調査

(3) 有効回答件数及び回答率

対象数	有効回答数	有効回答率
311件	155件	49.8%

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer =いくつでも)、3LA (3 Limited Answer=3つまで)と記載している。また、不明(無回答)はグラフ・表から除いている。
4. クロス集計表において、各項目(表側)における**上位1位**、**上位2位**に色付けをしている。

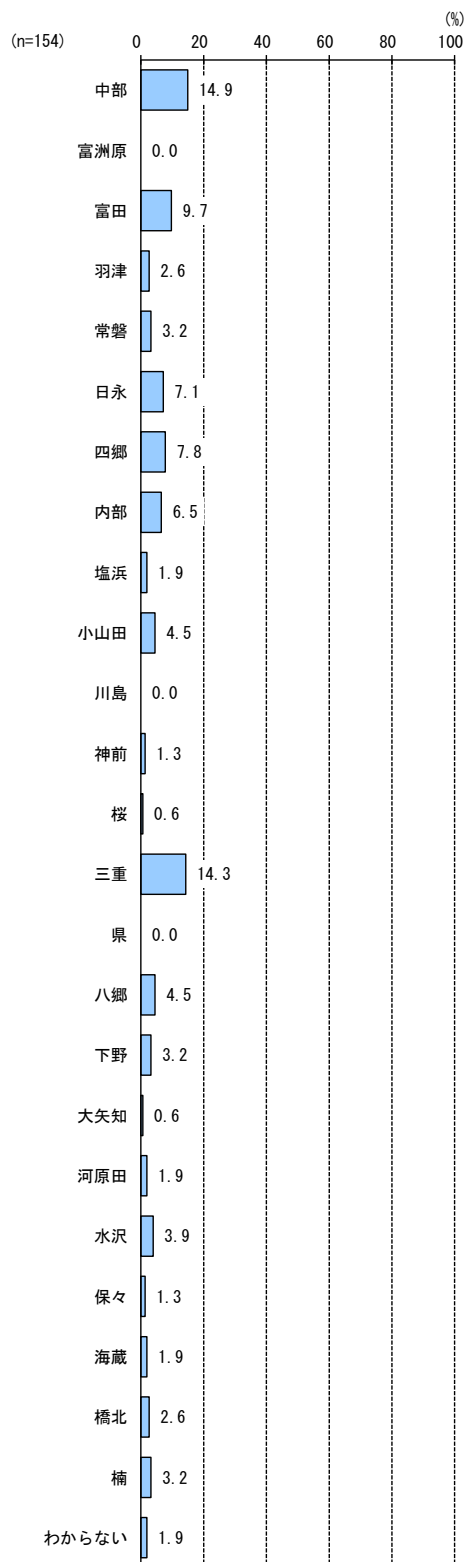
2. 調査結果

問1 所属などについて

●問1-2 あなたが所属している事業所の所在地はどちらですか。(ひとつだけ)

○ 事業所の所在地について、「中部」が 14.9%で最も多く、次いで「三重」が 14.3%、「富田」が 9.7%となっています。

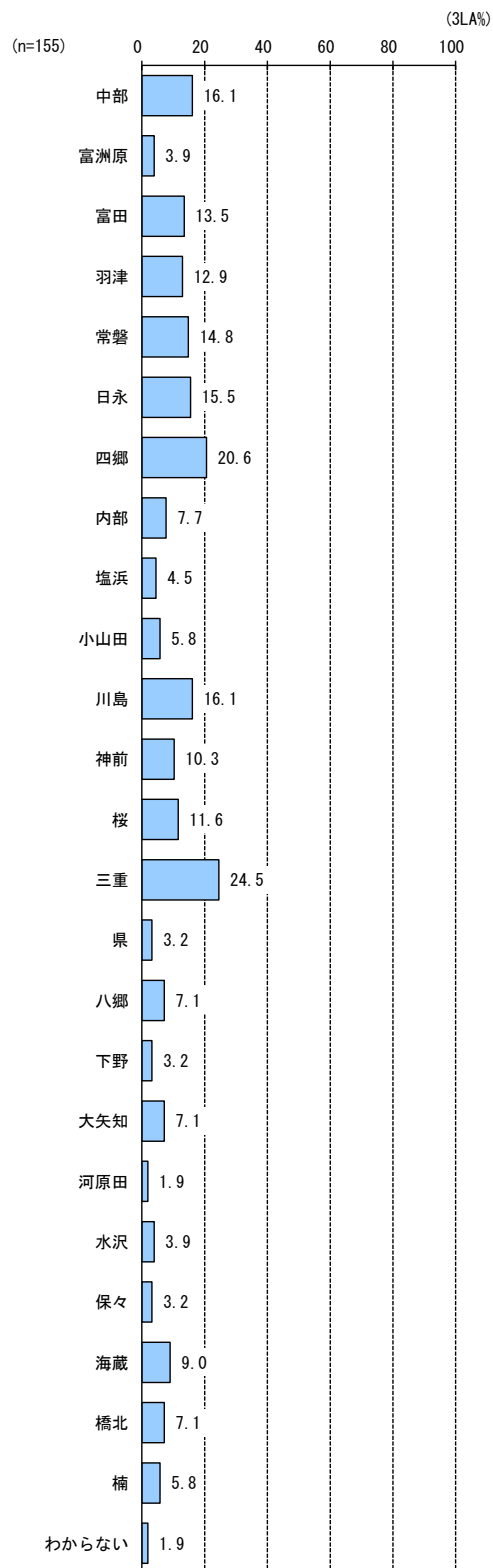
【事業所の所在地】



- 問1-3 あなたは、主にどの地区の利用者のケアプランを作成していますか。
 (上位3地区を選択)

○ 利用者の居住地について、「三重」が24.5%で最も多く、次いで「四郷」が20.6%、「中部」「川島」が16.1%となっています。

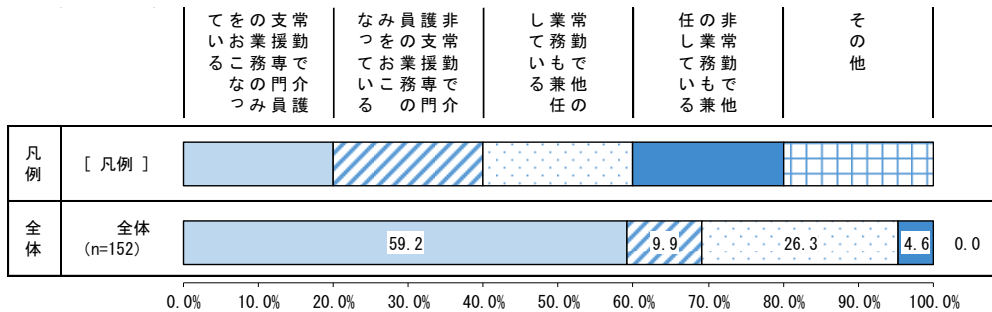
【利用者の居住地(3LA)】



●問1-4 あなたが介護支援専門員として働く勤務形態は、次のどれですか。

○ 勤務形態について、「常勤で介護支援専門員の業務のみをおこなっている」が59.2%で最も多く、次いで「常勤で他の業務も兼任している」が26.3%、「非常勤で介護支援専門員の業務のみをおこなっている」が9.9%となっています。

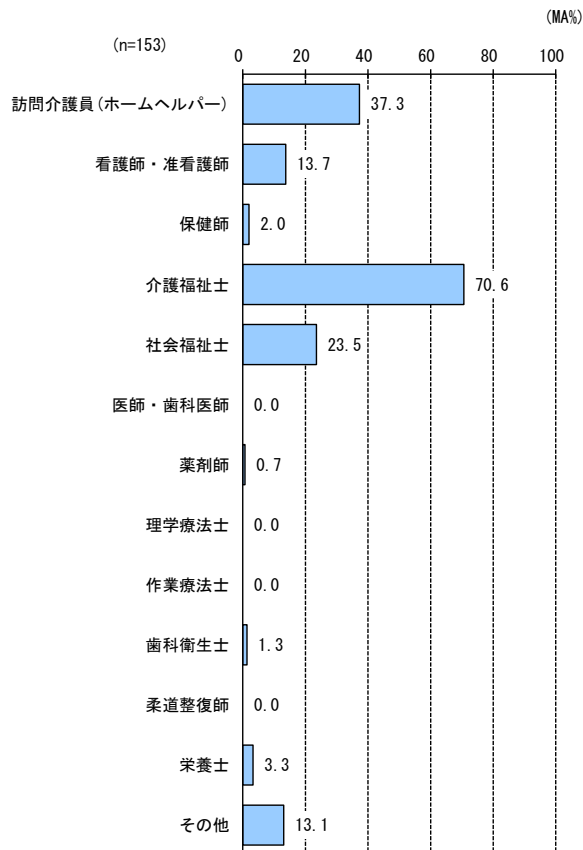
【勤務形態】



●問1-5 あなたは、次の資格の中でどれをお持ちですか。(当てはまるものをすべて選択)

○ 有資格の状況について、「介護福祉士」が70.6%で最も多く、次いで「訪問介護員(ホームヘルパー)」が37.3%、「社会福祉士」が23.5%となっています。

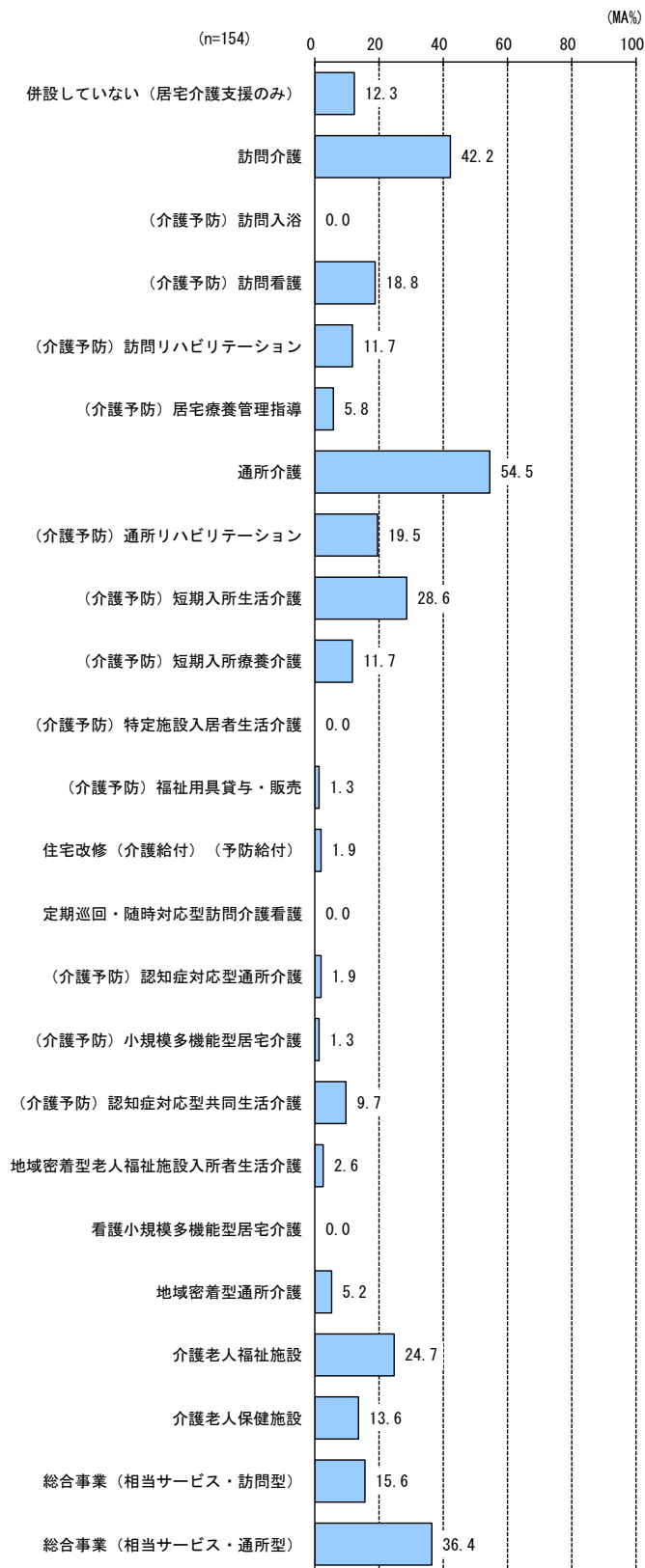
【有資格の状況(MA)】



- 問1-6 あなたが所属している事業所に併設しているサービスは何ですか。
 (当てはまるものをすべて選択)

○ 事業所に併設しているサービスについて、「通所介護」が54.5%で最も多く、次いで「訪問介護」が42.2%、「総合事業（相当サービス・通所型）」が36.4%となっています。

【事業所に併設しているサービス (MA)】

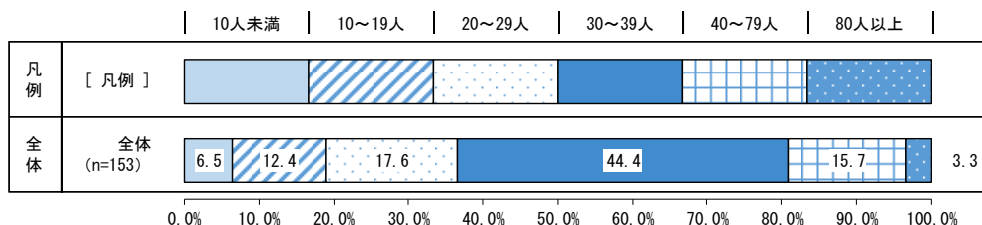


問2 ケアマネジメントについて

●問2-1 あなたが、現在担当している利用者は何人ですか。

- 担当している利用者数について、「30～39人」が44.4%で最も多く、次いで「20～29人」が17.6%、「40～79人」が15.7%となっています。

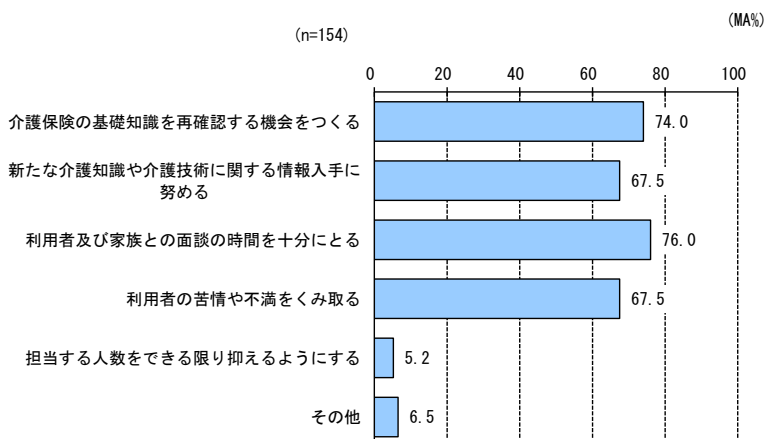
【担当している利用者数】



●問2-2 あなたがケアマネジメントの質を高めるためにおこなっていることはどのようなことですか。(当てはまるものをすべて選択)

- ケアマネジメントの質を高めるためにおこなっていることについて、「利用者及び家族との面談の時間を十分にとる」が76.0%で最も多く、次いで「介護保険の基礎知識を再確認する機会をつくる」が74.0%、「新たな介護知識や介護技術に関する情報入手に努める」「利用者の苦情や不満をくみ取る」が67.5%となっています。

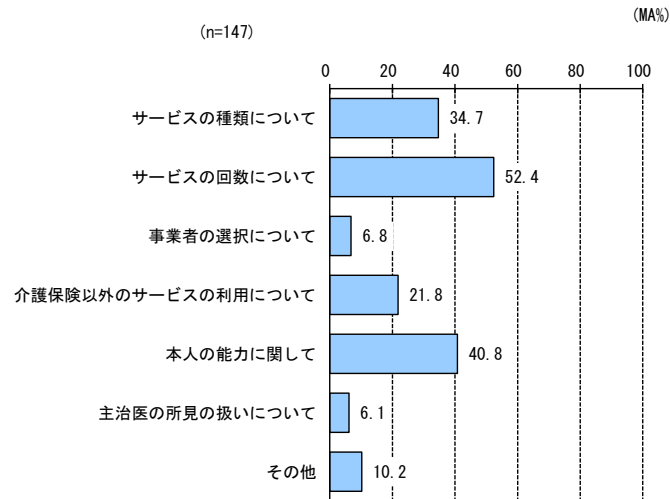
【ケアマネジメントの質を高めるためにおこなっていること(MA)】



- 問2-3 ケアプランを作成する際、介護支援専門員であるあなたの意見と、利用者との意見が食い違うのは、どのような場合ですか。（当てはまるものをすべて選択）

○ 利用者の意見と食い違う状況について、「サービスの回数について」が52.4%で最も多く、次いで「本人の能力に関して」が40.8%、「サービスの種類について」が34.7%となっています。

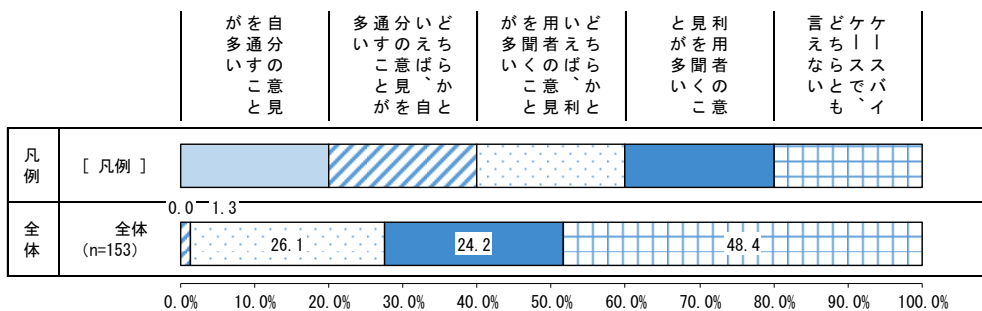
【利用者の意見と食い違う状況(MA)】



- 問2-4 あなたと利用者との意見が食い違う場合、どのように対処していますか。（ひとつだけ）

○ 利用者との意見が食い違う場合の対処方法について、「ケースバイケースで、どちらとも言えない」が48.4%で最も多く、次いで「どちらかといえば、利用者の意見を聞くことが多い」が26.1%、「利用者の意見を聞くことが多い」が24.2%となっています。

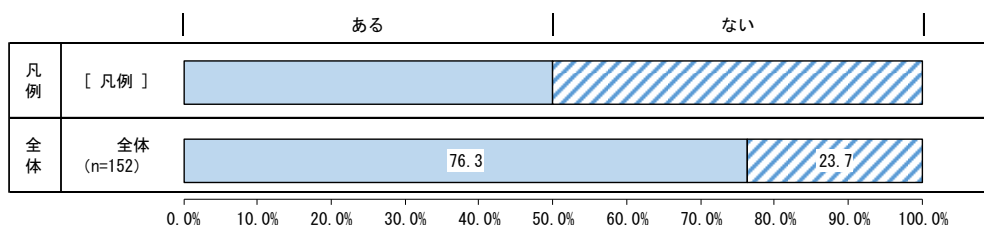
【利用者との意見が食い違う場合の対処方法】



- 問2-5 ケアプランを作成する際、利用者ご本人とご家族との間で意見が食い違うことはありますか。(ひとつだけ)

○ ケアプラン作成時における利用者・家族間の意見相違有無について、「ある」が 76.3%、「ない」が 23.7%となっています。

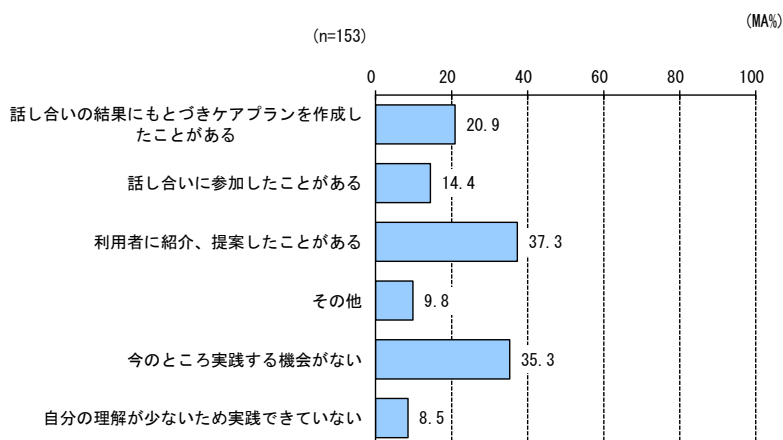
【ケアプラン作成時における利用者・家族間の意見相違有無】



- 問2-6 あなたは、自らが望む人生の最終段階における医療・ケア（「人生会議」、「ACP：アドバンス・ケア・プランニング」）の考え方にもとづくケアマネジメントを実践していますか。(当てはまるものをすべて選択)

○ ACP の考え方にもとづくケアマネジメントの実践状況について、「利用者に紹介、提案したことがある」が 37.3%で最も多く、次いで「今のところ実践する機会がない」が 35.3%、「話し合いの結果にもとづきケアプランを作成したことがある」が 20.9%となっています。

【ACP の考え方にもとづくケアマネジメントの実践状況 (MA)】

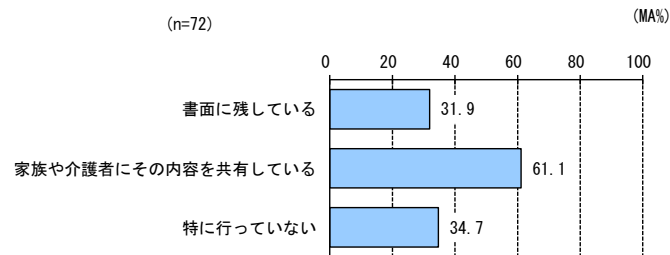


【問2-6 で「1. 話し合いの結果にもとづきケアプランを作成したことがある」「2. 話し合いに参加したことがある」「3. 利用者に紹介、提案したことがある」を選んだ人に伺います。】

●問2-6-① 「人生会議」または「アドバンス・ケア・プランニング」での内容について以下のことを行っていますか。(当てはまるものをすべて選択)

○ 「人生会議」または「ACP」でおこなっていることについて、「家族や介護者にその内容を共有している」が 61.1%で最も多く、次いで「特に行っていない」が 34.7%、「書面に残している」が 31.9%となっています。

【「人生会議」または「ACP」でおこなっていること (MA)】



問3 介護サービスについて

- 問3-1 現行サービスについての評価はいかがですか。(それぞれのサービスについて、当てはまるものをすべて選択)

- 「サービスの量が過剰」は(介護予防)訪問看護が52.6%、(介護予防)福祉用具貸与・販売が62.5%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「利用者の不満が多い」は(介護予防)短期入所生活介護が17.2%、介護老人福祉施設が16.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【現行サービスの評価(MA)】

単位：%

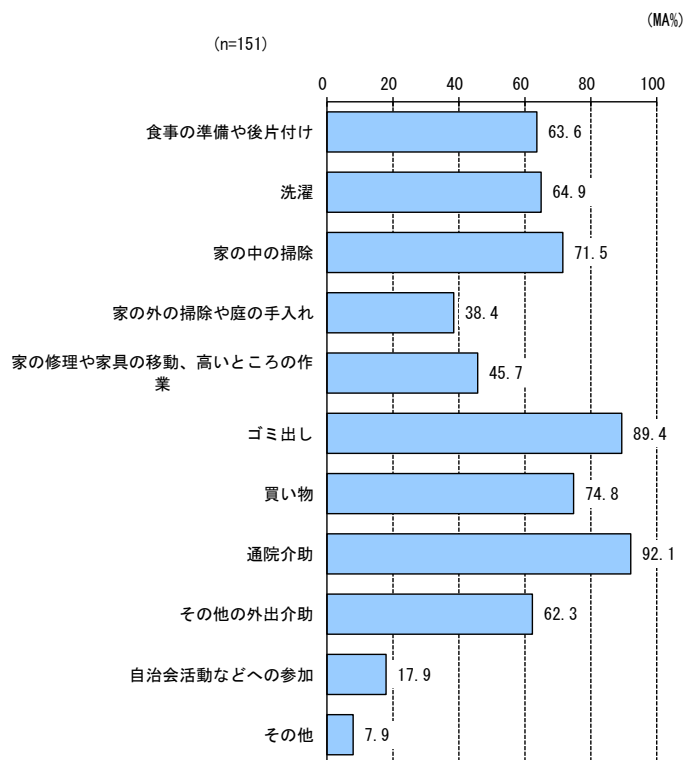
	母数 (n)	現行サービスの評価(MA)				
		量サ が 不 足 ス の	量サ が 過 剰 ス の	質サ が 悪 ビ ス の	不 利 用 者 が 多 い	
全体	140	96.4	44.3	22.9	25.7	
介護保険 サービス	居宅介護支援	91	80.2	15.4	3.3	6.6
	訪問介護	116	89.7	2.6	5.2	8.6
	(介護予防)訪問入浴	49	85.7	6.1	-	10.2
	(介護予防)訪問看護	57	35.1	52.6	8.8	8.8
	(介護予防)訪問リハビリテーション	72	87.5	4.2	-	9.7
	(介護予防)居宅療養管理指導	47	46.8	40.4	12.8	6.4
	通所介護	59	39.0	35.6	13.6	13.6
	(介護予防)通所リハビリテーション	84	91.7	4.8	1.2	4.8
	(介護予防)短期入所生活介護	64	62.5	10.9	14.1	17.2
	(介護予防)短期入所療養介護	56	89.3	5.4	-	5.4
	(介護予防)特定施設入居者生活介護	49	75.5	10.2	12.2	4.1
	(介護予防)福祉用具貸与・販売	48	22.9	62.5	10.4	8.3
	住宅改修(介護給付)(予防給付)	39	38.5	41.0	10.3	12.8
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	77	93.5	1.3	-	5.2
	夜間対応型訪問介護	78	97.4	1.3	-	2.6
	(介護予防)小規模多機能型居宅介護	64	89.1	4.7	1.6	6.3
	(介護予防)認知症対応型共同生活介護	61	80.3	8.2	8.2	8.2
	(介護予防)認知症対応型通所介護	69	91.3	4.3	2.9	4.3
	地域密着型老人福祉施設入所者生活介護	40	82.5	12.5	5.0	5.0
	看護小規模多機能型居宅介護	64	95.3	4.7	-	1.6
	地域密着型通所介護	48	72.9	25.0	2.1	4.2
	介護老人福祉施設	60	55.0	20.0	11.7	16.7
	介護老人保健施設	50	70.0	10.0	10.0	14.0
	介護医療院	45	93.3	2.2	2.2	2.2
	総合事業(相当サービス・通所型)	65	87.7	6.2	1.5	7.7
	総合事業(相当サービス・訪問型)	72	95.8	4.2	2.8	1.4

問4 日常生活の支援について

- 問4-1 介護や支援が必要な人の日常生活を支援するためのサービスとして、どのようなことが必要だと思いますか。(当てはまるものをすべて選択)

○ 介護や支援が必要な人の日常生活を支援するために必要なサービスについて、「通院介助」が 92.1%で最も多く、次いで「ゴミ出し」が 89.4%、「買い物」が 74.8%となっています。

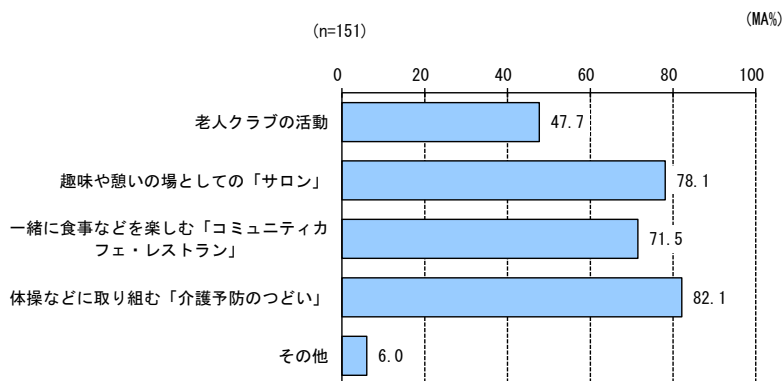
【介護や支援が必要な人の日常生活を支援するために必要なサービス (MA)】



- 問4-2 ふだんの日中、高齢者が集まる場として、どのようなものが必要だと思いますか。(当てはまるものをすべて選択)

○ ふだんの日中必要な高齢者が集まる場について、「体操などに取り組む「介護予防のつどい」」が 82.1%で最も多く、次いで「趣味や憩いの場としての「サロン」」が 78.1%、「一緒に食事などを楽しむ「コミュニティカフェ・レストラン」」が 71.5%となっています。

【ふだんの日中必要な高齢者が集まる場 (MA)】

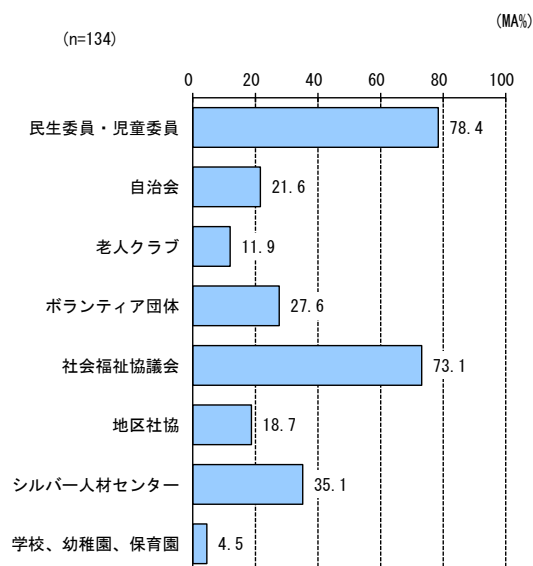


問5 地域や多職種間での連携について

- 問5-1 四日市市内の各種団体とは連携を図ることができていますか。連携できている団体を選んでください。(当てはまるものをすべて選択)

○ 連携できている四日市市内の団体について、「民生委員・児童委員」が78.4%で最も多く、次いで「社会福祉協議会」が73.1%、「シルバー人材センター」が35.1%となっています。

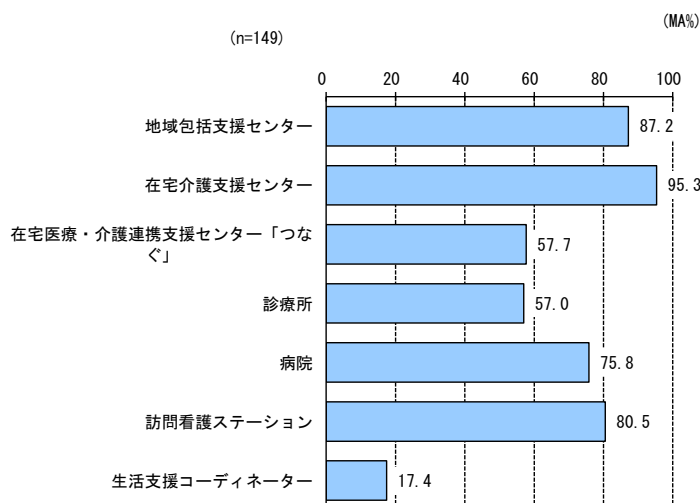
【連携できている四日市市内の団体(MA)】



- 問5-2 次のような機関等と連携を図ることができていますか。連携できている機関等を選んでください。(当てはまるものをすべて選択)

○ 連携できている機関について、「在宅介護支援センター」が95.3%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」が87.2%、「訪問看護ステーション」が80.5%となっています。

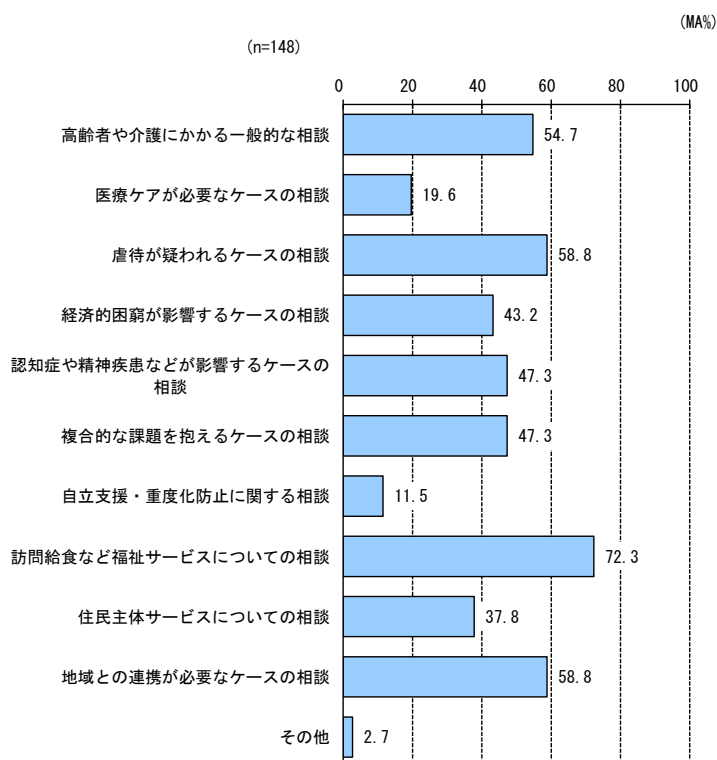
【連携できている機関(MA)】



- 問5-3 あなたは、在宅介護支援センターに対し、どのような内容の相談をしていますか。
 (当てはまるものをすべて選択)

○ 在宅介護支援センターに対する相談内容について、「訪問給食など福祉サービスについての相談」が72.3%で最も多く、次いで「虐待が疑われるケースの相談」「地域との連携が必要なケースの相談」が58.8%、「高齢者や介護にかかる一般的な相談」が54.7%となっています。

【在宅介護支援センターに対する相談内容(MA)】

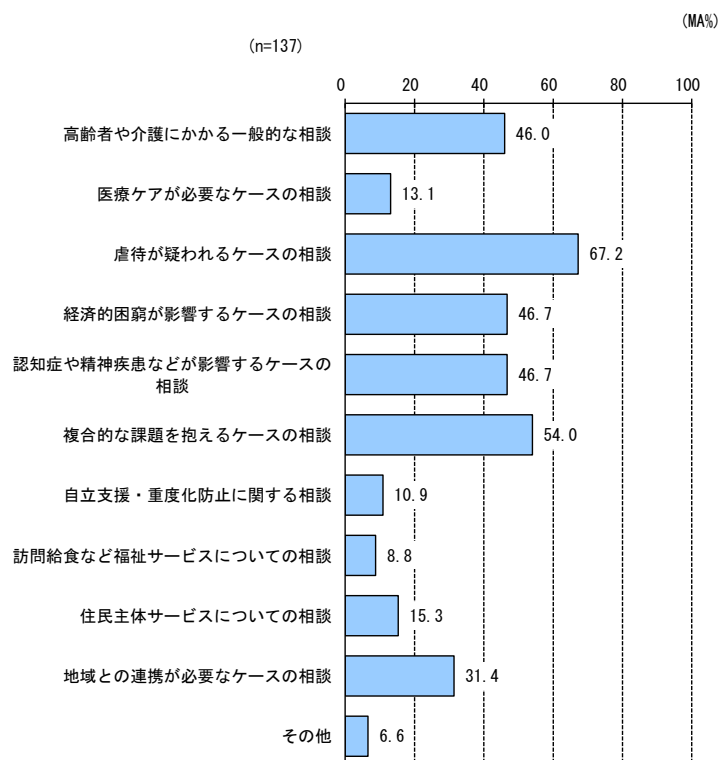


●問5-5 あなたは、地域包括支援センターに対し、どのような内容の相談をしていますか。

(当てはまるものをすべて選択)

- 地域包括支援センターに対する相談内容について、「虐待が疑われるケースの相談」が67.2%で最も多く、次いで「複合的な課題を抱えるケースの相談」が54.0%、「経済的困窮が影響するケースの相談」「認知症や精神疾患などが影響するケースの相談」が46.7%となっています。

【地域包括支援センターに対する相談内容(MA)】



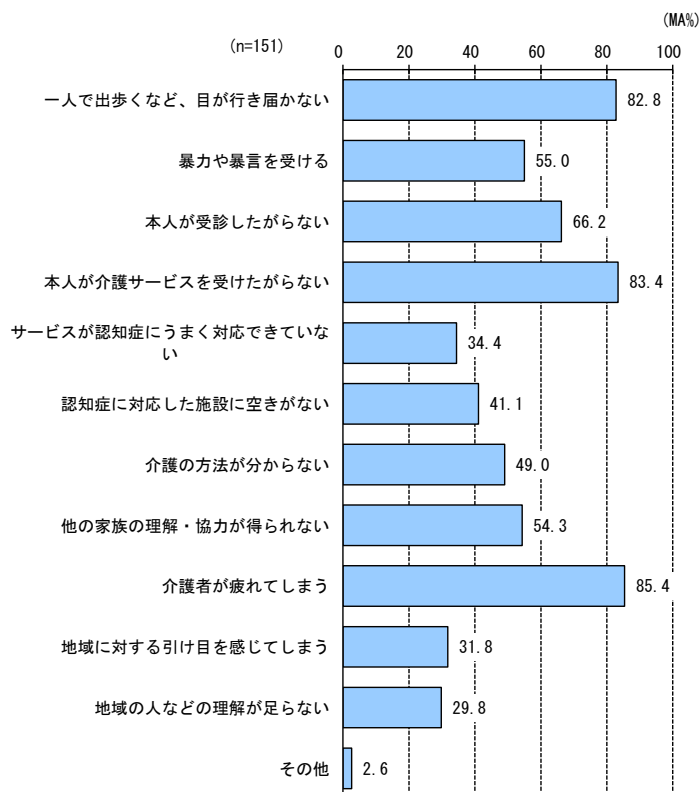
問6 認知症対策について

●問6-1 認知症に対して、介護者はどのようなことに困っていると思いますか。

(当てはまるものをすべて選択)

○ 認知症に対して介護者が困っていることについて、「介護者が疲れてしまう」が85.4%で最も多く、次いで「本人が介護サービスを受けたがらない」が83.4%、「一人で出歩くなど、目が行き届かない」が82.8%となっています。

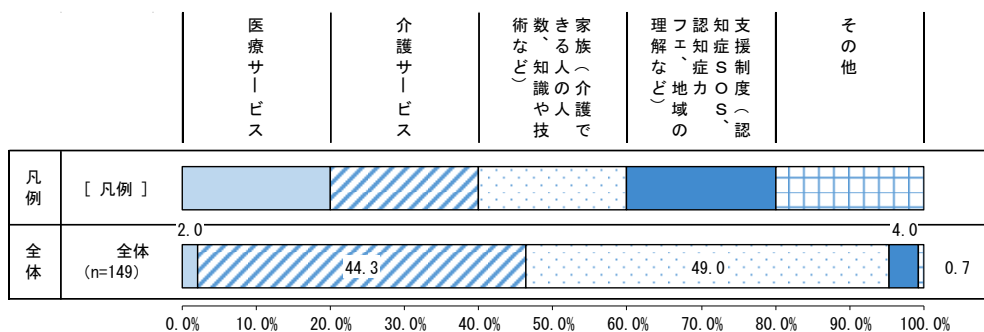
【認知症に対して介護者が困っていること (MA)】



- 問6-2 認知症の症状を持ちながら在宅介護を続けているケースについて、それを可能にしている最も大きな要因は何だと思えますか。(ひとつだけ)

○ 認知症の症状を持つ要介護者の在宅介護を継続可能にしている要因について、「家族（介護できる人の人数、知識や技術など）」が 49.0%で最も多く、次いで「介護サービス」が 44.3%、「支援制度（認知症SOS、認知症カフェ、地域の理解など）」が 4.0%となっています。

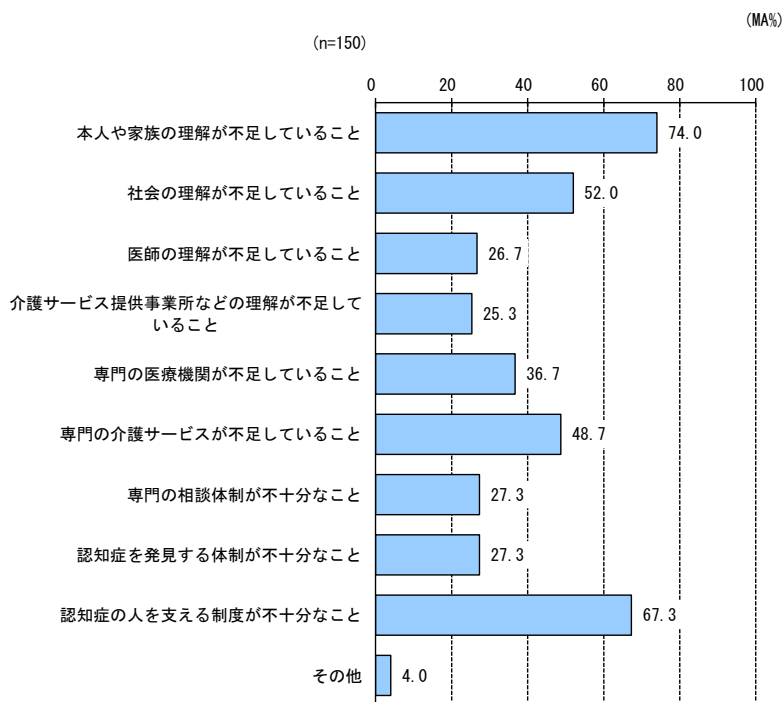
【認知症の症状を持つ要介護者の在宅介護を継続可能にしている要因】



- 問6-3 認知症対策を充実させていく上での課題は何だと思えますか。
(当てはまるものをすべて選択)

○ 認知症対策を充実させていく上での課題について、「本人や家族の理解が不足していること」が 74.0%で最も多く、次いで「認知症の人を支える制度が不十分なこと」が 67.3%、「社会の理解が不足していること」が 52.0%となっています。

【認知症対策を充実させていく上での課題(MA)】

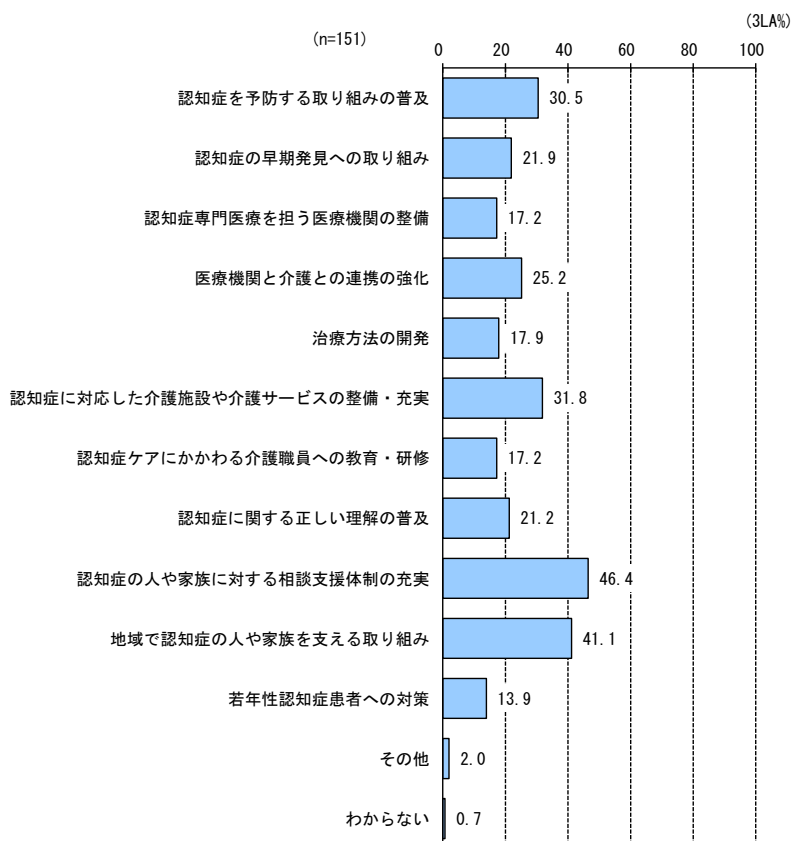


●問6-4 社会において、特に重点を置くべき認知症対策は何だと思えますか。

(当てはまるものを3つまで選択)

○ 特に重点を置くべき認知症対策について、「認知症の人や家族に対する相談支援体制の充実」が46.4%で最も多く、次いで「地域で認知症の人や家族を支える取り組み」が41.1%、「認知症に対応した介護施設や介護サービスの整備・充実」が31.8%となっています。

【特に重点を置くべき認知症対策(3LA)】

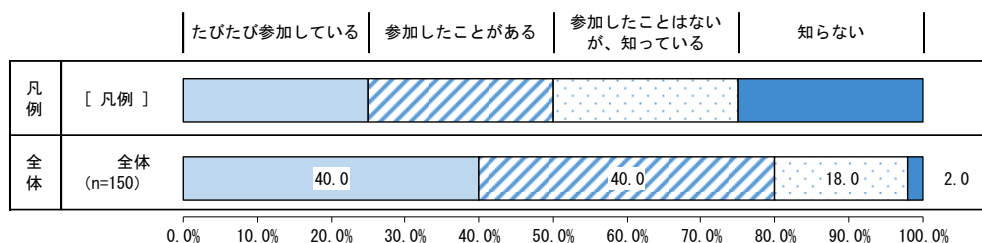


問7 医療との連携、在宅での療養・介護について

- 問7-1 四日市市では、地域包括支援センターを核に医療と介護関係者が話し合う場である「医療・介護ネットワーク会議」が「北」「中」「南」のブロックごとに組織されています。あなたは、「医療・介護ネットワーク会議」の活動をご存じですか。
(ひとつだけ)

○ 「医療・介護ネットワーク会議」の活動の認知度について、「たびたび参加している」「参加したことがある」が40.0%で最も多く、次いで「参加したことはないが、知っている」が18.0%、「知らない」が2.0%となっています。

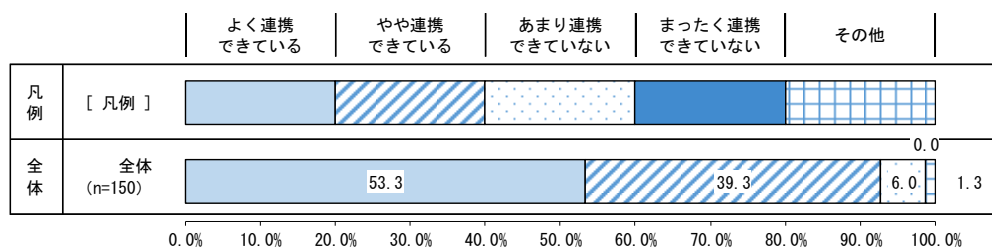
【「医療・介護ネットワーク会議」の活動の認知度】



- 問7-2 訪問看護ステーションとの連携はできていると思いますか。(ひとつだけ)

○ 訪問看護ステーションとの連携状況について、「よく連携できている」が53.3%で最も多く、次いで「やや連携できている」が39.3%、「あまり連携できていない」が6.0%となっています。

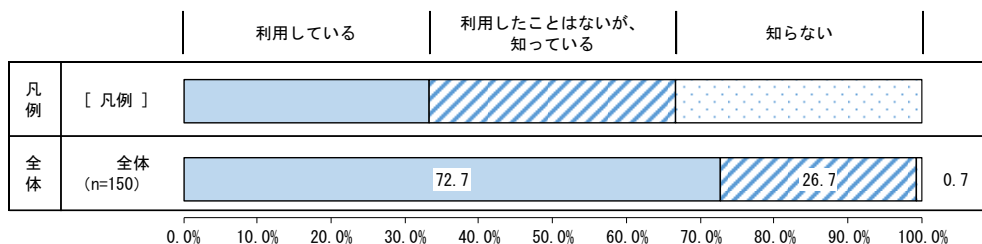
【訪問看護ステーションとの連携状況】



- 問7-4 あなたは、「退院時カンファレンスマニュアル」のことをご存じですか。
(ひとつだけ)

○ 「退院時カンファレンスマニュアル」の認知度について、「利用している」が72.7%で最も多く、次いで「利用したことはないが、知っている」が26.7%、「知らない」が0.7%となっています。

【「退院時カンファレンスマニュアル」の認知度】

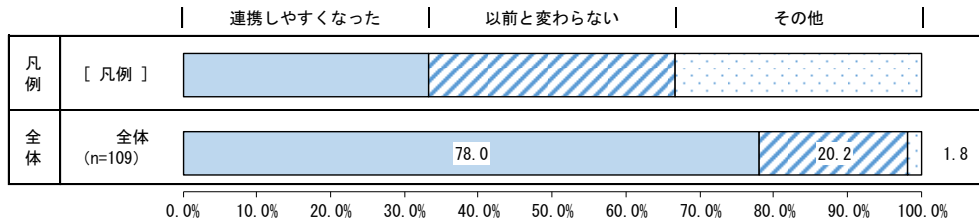


【問7-4 で「1. 利用している」を選んだ人に伺います。】

- 問7-4-① あなたは、「退院時カンファレンスマニュアル」により、医療職との連携がしやすくなったと思いますか。(ひとつだけ)

○ 「退院時カンファレンスマニュアル」により医療職との連携がしやすくなったかについて、「連携しやすくなった」が78.0%、「以前と変わらない」が20.2%となっています。

【「退院時カンファレンスマニュアル」により医療職との連携がしやすくなったか】

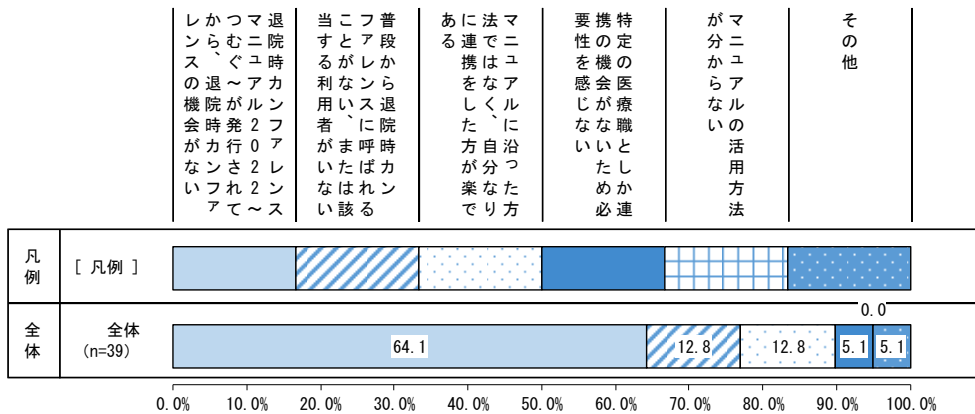


【問7-4 で「2. 利用したことはないが、知っている」を選んだ人に伺います。】

- 問7-4-② 利用したことがない理由は何ですか。(ひとつだけ)

○ 「退院時カンファレンスマニュアル」を利用したことがない理由について、「退院時カンファレンスマニュアル 2022～つむぐ～が発行されてから、退院時カンファレンスの機会がない」が64.1%で最も多く、次いで「普段から退院時カンファレンスに呼ばれることがない、または該当する利用者がいない」「マニュアルに沿った方法ではなく、自分なりに連携をした方が楽である」が12.8%、「特定の医療職としか連携の機会がないため必要性を感じない」が5.1%となっています。

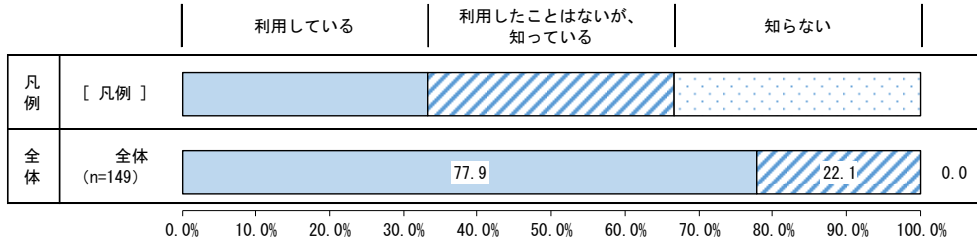
【「退院時カンファレンスマニュアル」を利用したことがない理由】



●問7-5 あなたは、「医療と介護の連携シート」のことをご存じですか。(ひとつだけ)

○ 「医療と介護の連携シート」の認知度について、「利用している」が77.9%で最も多く、次いで「利用したことはないが、知っている」が22.1%となっています。

【「医療と介護の連携シート」の認知度】

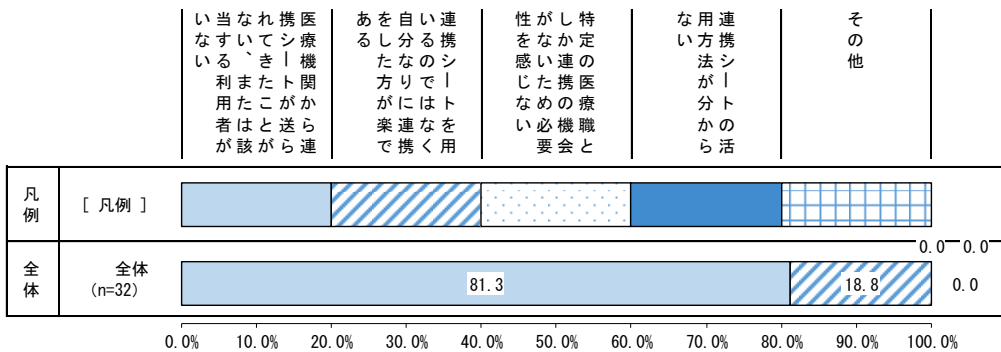


【問7-5 で「2. 利用したことはないが、知っている」を選んだ人に伺います。】

●問7-5-① 利用したことがない理由は何ですか。(ひとつだけ)

○ 「医療と介護の連携シート」利用したことがない理由について、「医療機関から連携シートが送られてきたことがない、または該当する利用者がいない」が81.3%で最も多く、次いで「連携シートを用いるのではなく自分なりに連携をした方が楽である」が18.8%となっています。

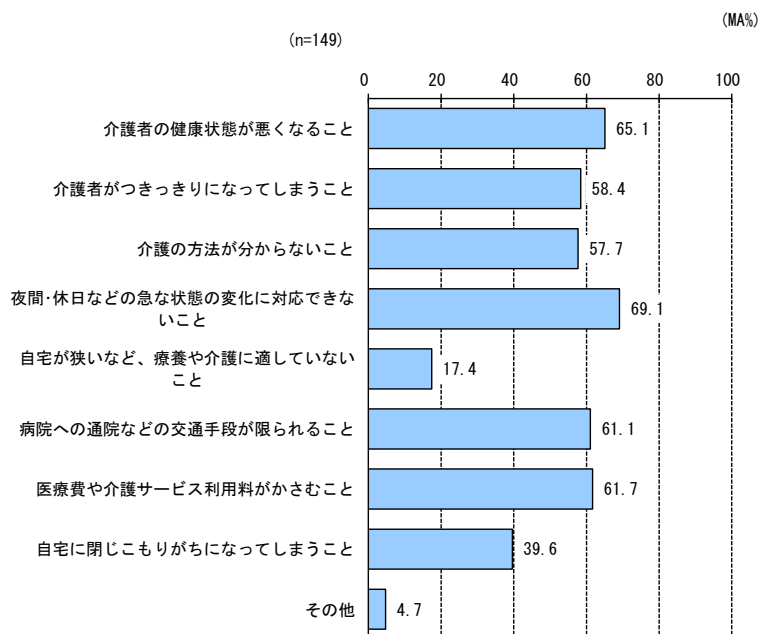
【「医療と介護の連携シート」利用したことがない理由】



- 問7-6 在宅での療養・介護を希望される方は、どのようなことに困っていると思いますか。(当てはまるものをすべて選択)

○ 在宅での療養・介護を希望される方が困っていることについて、「夜間・休日などの急な状態の変化に対応できないこと」が 69.1%で最も多く、次いで「介護者の健康状態が悪くなること」が 65.1%、「医療費や介護サービス利用料がかさむこと」が 61.7%となっています。

【在宅での療養・介護を希望される方が困っていること (MA)】

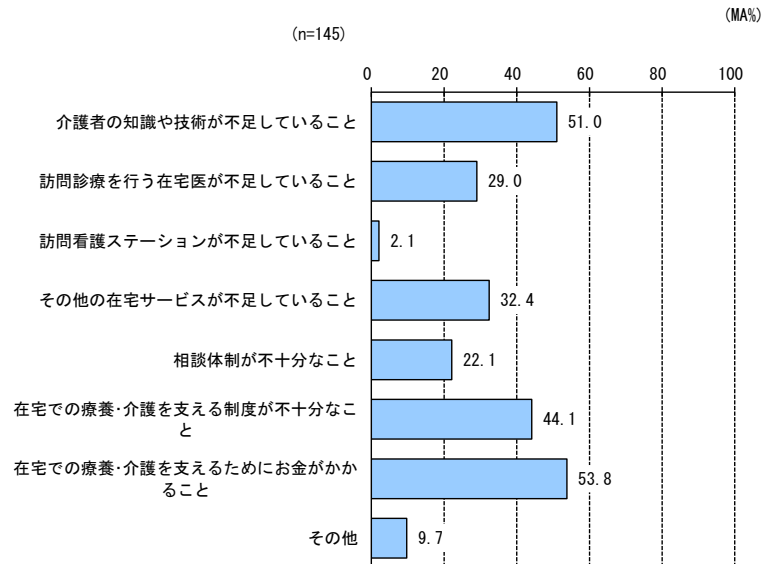


●問7-7 在宅での療養・介護を支援していく上での課題は何だと思いますか。

(当てはまるものをすべて選択)

- 在宅での療養・介護を支援していく上での課題について、「在宅での療養・介護を支えるためにお金がかかること」が 53.8%で最も多く、次いで「介護者の知識や技術が不足していること」が 51.0%、「在宅での療養・介護を支える制度が不十分なこと」が 44.1%となっています。

【在宅での療養・介護を支援していく上での課題(MA)】



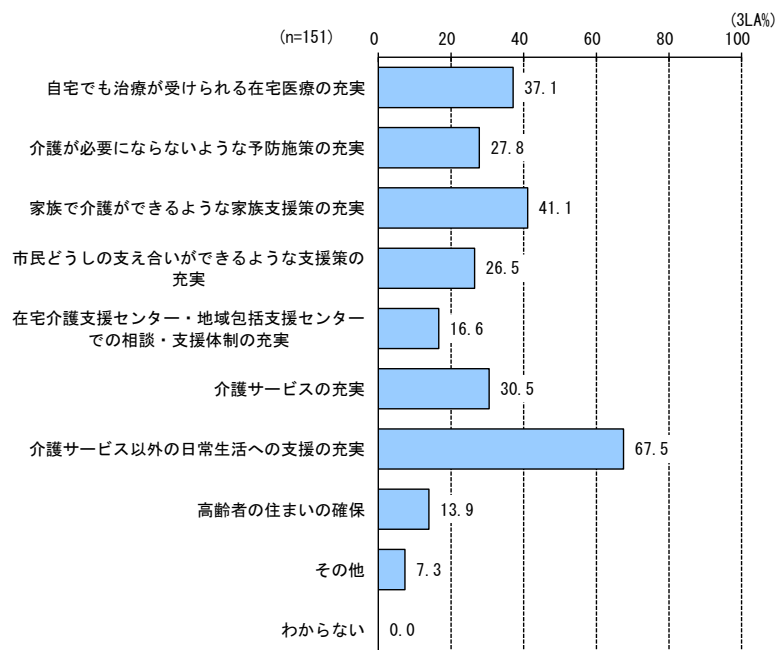
問8 今後の介護について

●問8-1 高齢者への介護体制の充実のため、行政に希望することは何ですか。

(当てはまるものを3つまで選択)

- 高齢者への介護体制の充実のために行政がすべきことについて、「介護サービス以外の日常生活への支援の充実」が 67.5%で最も多く、次いで「家族で介護ができるような家族支援策の充実」が 41.1%、「自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実」が 37.1%となっています。

【高齢者への介護体制の充実のために行政がすべきこと(3LA)】



●問8-2 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするため、地域でどのようなことが重要だと思いますか。(当てはまるものを3つまで選択)

○ 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするために地域で重要なことについて、「高齢者の移動手段を、住民ボランティア・NPOなどの力を借りて確保する」が61.1%で最も多く、次いで「ふれあいきいきサロンなど、近所で気軽に集まれる場を地域の人びとでつくり出す」が49.7%、「地域の人びとによる日頃の見守りを充実する」が44.3%となっています。

【高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするために地域で重要なこと(3LA)】

